

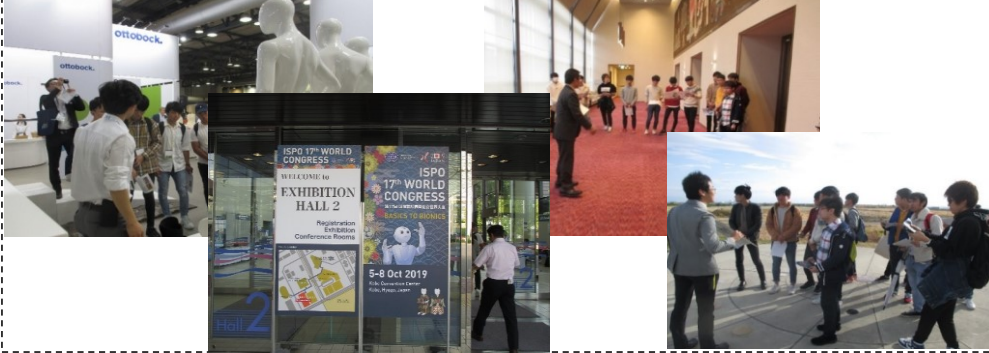
教員名 辻本 千春

企画名 大阪府・大阪市IR推進局
大学生による「IRIに関する提案・研究発表会」

地域活性化型
自治体・国

神戸国際会議場のMICE国際展示会「ISPO」見学

INTEX大阪視察とIR予定地「夢洲」見学



企画・活動概要

◆講義・視察のスケジュール

- ★10月7日(月): 神戸観光局からの情報提供で、神戸国際会議場で開催された国際会議・展示会「ISPO2019」(義肢装具の大型国際会議、90か国、5000人が参加)を「MICE」の現場視察を有志5名で行った。
- ★10月15日(火): 大阪府・大阪市IR推進委員会によるIRIについての講義と、大阪観光局によるMICEの講義を行った。大阪府・大阪市IR推進局 推進課長 高木隆介氏
一般財団法人大阪観光局 MICE推進部課長 塩見麻子氏
- ★11月18日(月): 夢洲視察とインテックス大阪視察、関係者とのミーティング スケジュール
13:30集合: インテックス大阪 西ゲート(正面ゲート)前
13:00~13:45 インテックス大阪 見学
13:45~14:00 移動(夢洲へ)
14:00~14:30 夢洲視察
14:30~14:45 移動(大阪府咲洲庁舎へ)
14:45~16:30 大阪府・大阪市IR推進局とミーティング、
ディスカッション、その後解散
- ★2月8日(金)「大学生が考えるIR 提案・研究発表会」 場所: 大阪中之島公会堂



経緯・背景・目的

IRとは「カジノを含む統合型リゾート」(Integrated Resort)のことを指している。カジノばかりが目されるが、その面積は法律でIRの3%と決められており、メインターゲットは「MICE」(Meeting, Incentive, Convention, Exhibition/Event など)の参加者を誘致し観光消費金額の増大を狙っている。また、IRIには税金を投入しないため、財政状況が厳しい行政、自治体にとっては取り組みたいプロジェクトのひとつである。

そして、IRの予定地である夢洲は日本各地へ観光で行かせる出発点でもあるため、観光や交通の視点で研究することになった。



取り組む課題

ゼミの開始が9月末なので、ゼミ生は観光マネジメントに関する本を読み、課題やレポートを書きながら、外部講師を招聘したり、視察やフィールドワーク、ゼミの中で意見交換やディスカッションもを行い、観光全体や大阪、神戸を中心とした関西の観光を考えるきっかけとして、MICEも学んだ。大きな課題は、ゼミとして「IR」の大きな役割である観光拠点としての位置づけと、開催地へのアクセスの課題をどうやって解決するかをテーマとした。

また、チームワークの確立のため11月に学園祭の模擬店をみんなで出して、その後BBQに行ったりしながら親交を深めた。2月の「大学生が考えるIR発表会」に向けて、座学、フィールドワーク、ワークショップ、発表練習を行った。PBLを実践したが、発表当日の他大学の発表やデータのとり方が非常に参考になった。



「IR」をスマート・リゾート・シティと観光ゲートウェイとするために
—交通と観光の視点から—

本学(学生)の役割

右の発表データの表紙にあるように、「交通」と「観光」に分かれて10分ずつ担当した。発表しない4名は質疑応答を担当ということで、ゼミ生12名全員が前に出て整列した。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2月8日の発表会では、京阪神6大学の発表があり、1大学20分の発表、10分間の質疑応答を行った。それぞれの大学はいろいろ工夫を凝らした発表を行っていた。

辻本ゼミのメンバーは、上記に書いたように、IRを「交通」と「観光」の視点で調べた結果を発表した。2チームに分かれて、「観光」と「交通」を発表したが、交通の視点に関しては車のコントロールの重要性について述べた点、観光については大阪湾岸を自転車道で1周する提案が評価された。

メンバーは、それぞれリーダーの指示通りに担当部分をこなし、納得ができる発表で評価されたことが自信につながった。

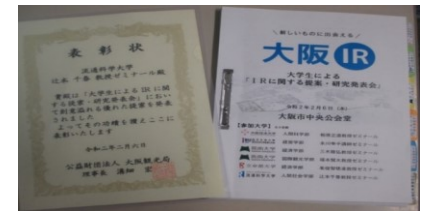


写真:

- 左: 発表場所の中央公会堂の前
- 右: 大阪観光局からいただいた表彰状と発表会で配布された発表内容コピーの冊子

指導教員および関係者の紹介



◀指導教員▶
人間社会学部
観光学科
教授
辻本 千春
専門: 観光マネジメント
観光まちづくり



◀関係者▶

- 大阪府・大阪市IR推進局 推進課長 高木隆介氏
統括主査 中山恵介氏
- 一般財団法人大阪観光局 理事長 溝畑 宏氏
MICE推進部課長 塩見麻子氏
- インテックス大阪 営業部長 近藤 秀樹氏
事業部係長 田口 勤氏

写真: 前列左から3人目 大阪観光局 溝畑理事長

他多くの関係者にお世話になりました。